

令和3年度 マイカー規制に関する利用者意識調査結果 (速報)

2021年12月24日

北海道大学 花卉・緑地計画学研究室

昨年に引き続き実施した、新方式でのマイカー規制(自然センター～カムイワッカ湯の滝)に関する利用者意識調査の集計結果を報告する。本年は、9月の無規制期間および、10月の新方式での規制期間(オータムバスデイズ)の2回の調査を実施した。

表1 調査実施概要

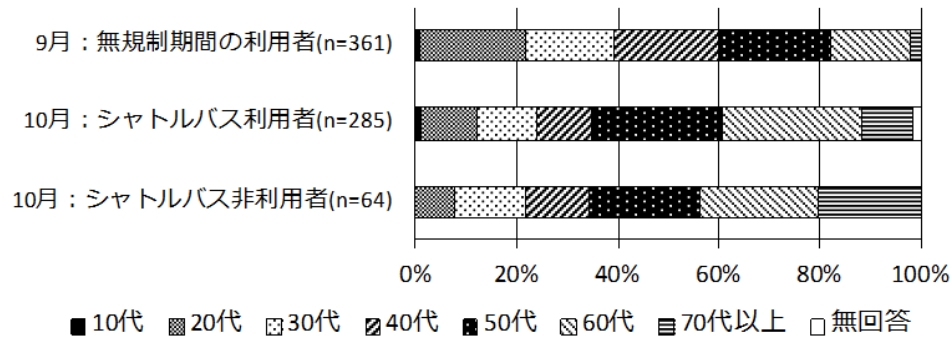
	調査①	調査②
調査日程	9月18日～20日,25日	10月1日～3日
条件	無規制期間	新方式でのマイカー規制期間 (自然センター～カムイワッカ)
回収方法	郵送	郵送
配布地	知床五湖	知床五湖 知床自然センター 道の駅ウトロ
配布数	720	780
回収数	363	351
有効数	361	350
有効回収率(%)	50.1	44.9

目次

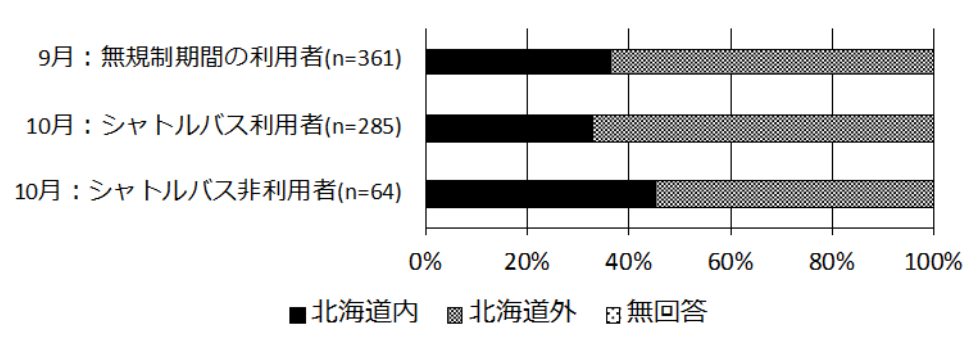
1. 回答者について	2
2. 新方式でのマイカー規制(自然センター～カムイワッカ)導入に対する支持態度	4
3. オータムバスデイズに対する評価	5
4. 自然観光地での観光の際に重視すること	8
5. 知床の利用における待ち時間・料金・体験オプションに対する意識	9
■ 要素間のトレードオフを考慮しない結果	9
■ 選択型実験を用いた結果	11

1. 回答者について

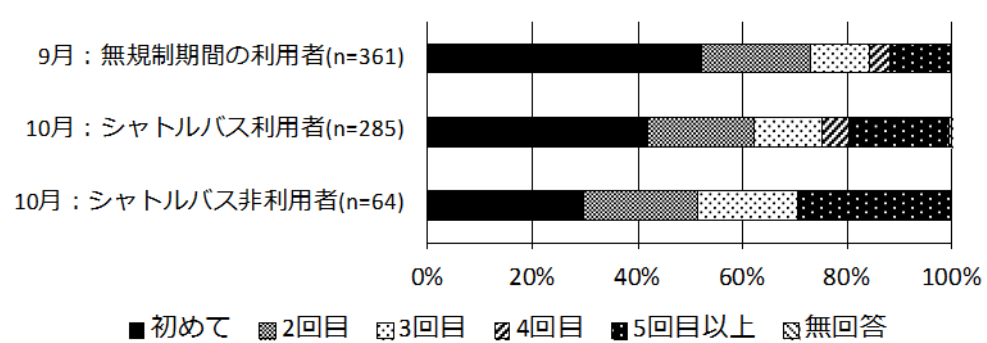
年齢



居住地

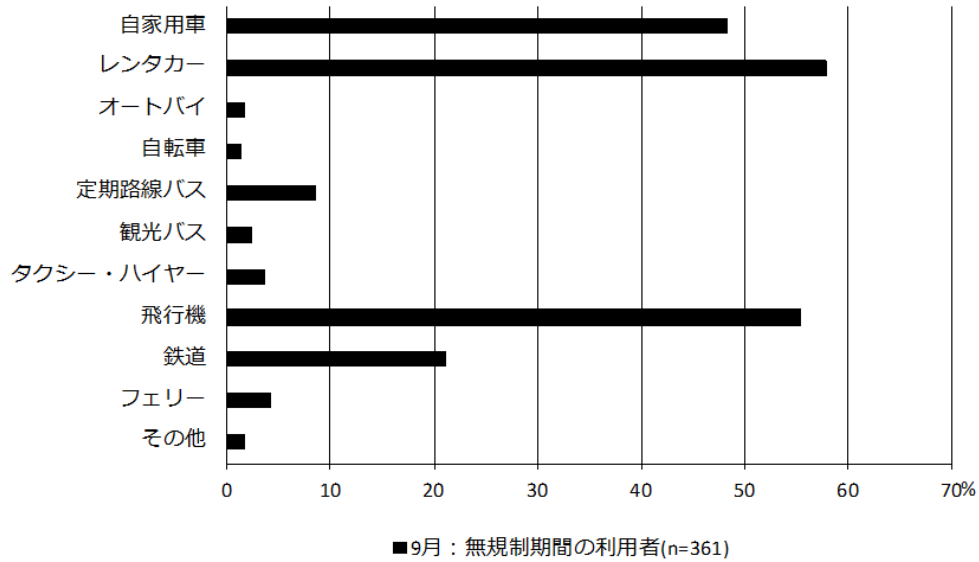


知床来訪回数

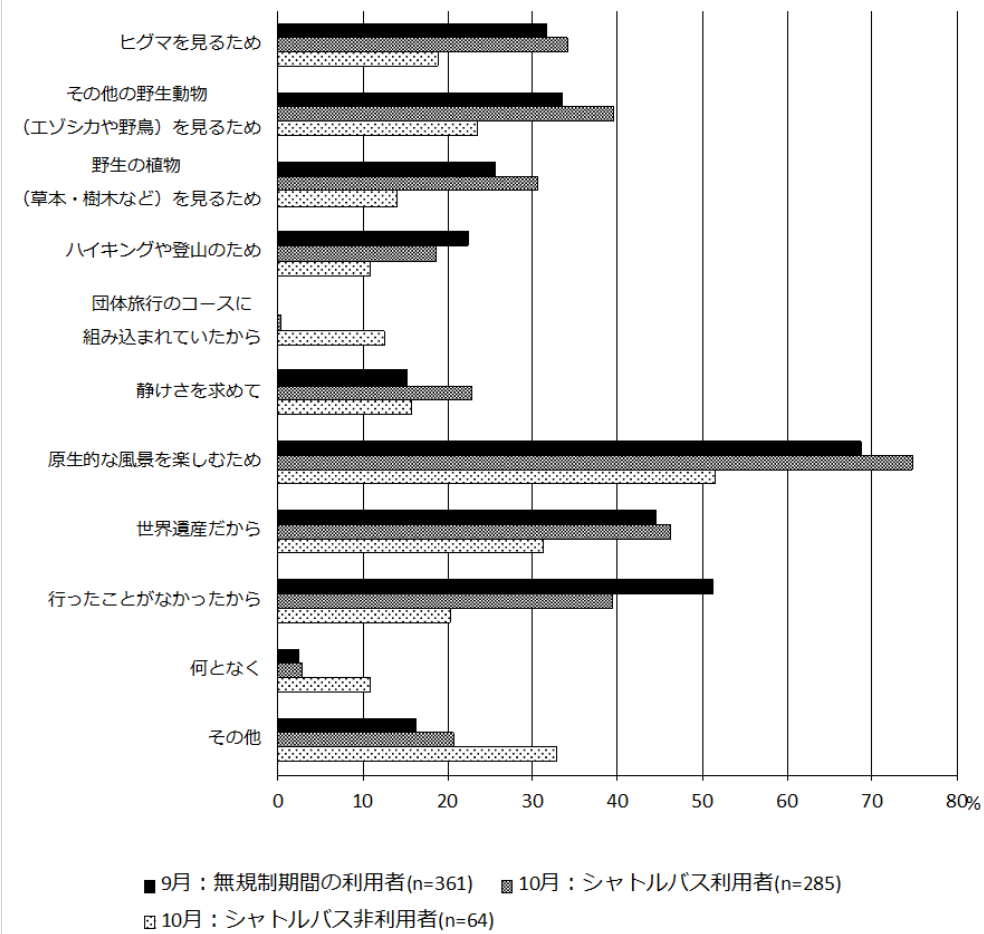


知床までの交通手段 (複数選択)

※10月調査では設問を設けなかった

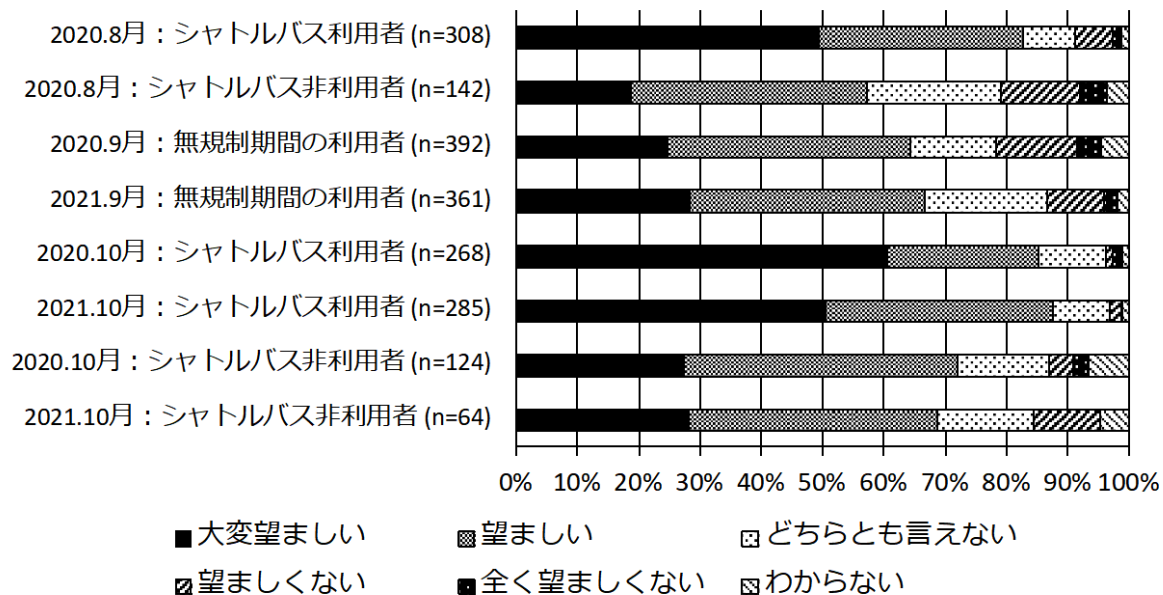


知床への来訪目的 (複数選択)



2. 新方式でのマイカー規制（自然センター～カムイワッカ）導入に対する支持態度

新方式でのマイカー規制導入に対する支持態度（経年比較）

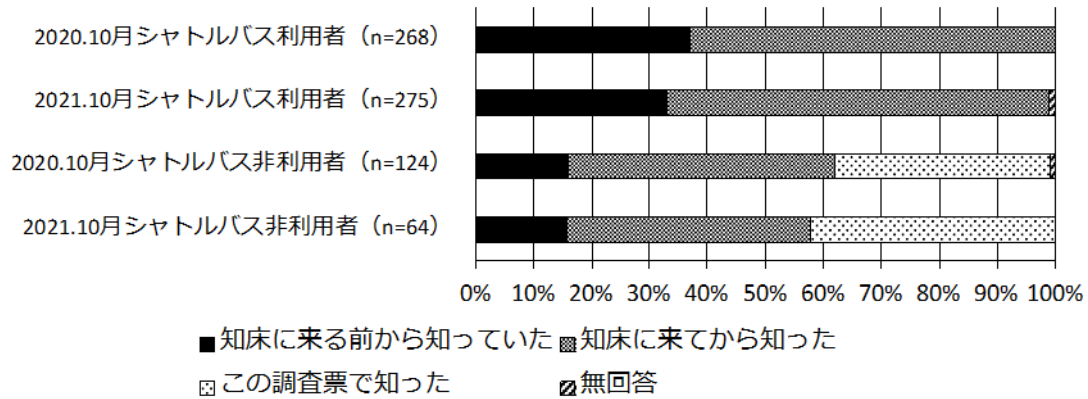


昨年のデータについて

表記	回答者について
2020.8月	昨年の8月マイカー規制期間に実施した調査の回答者
2020.9月	昨年の9月の無規制期間に実施した調査の回答者
2020.10月	昨年の10月バスデイズ期間に実施した調査の回答者

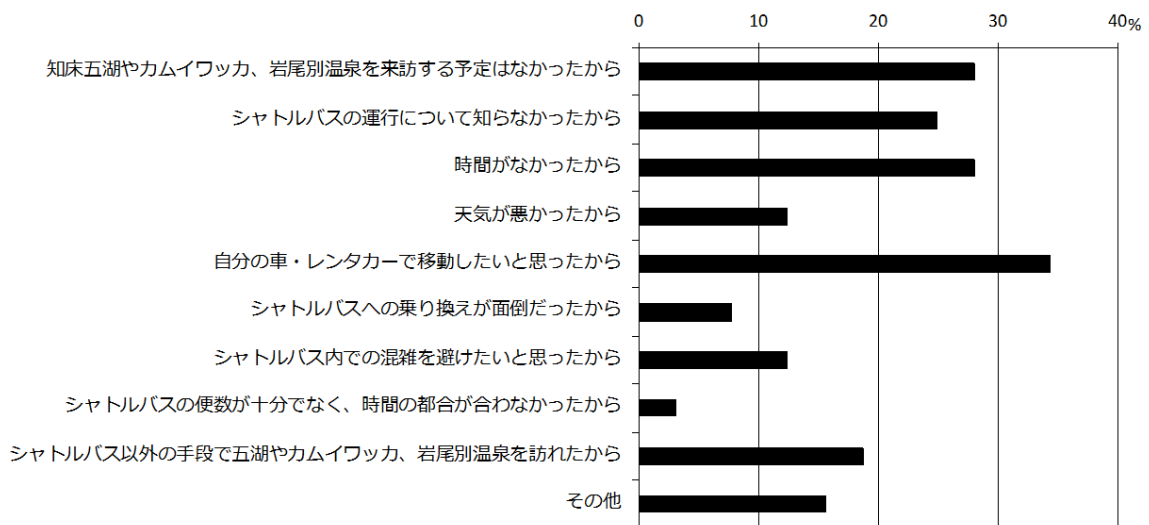
3. オータムバスデイズに対する評価

オータムバスデイズの認知 (経年比較)



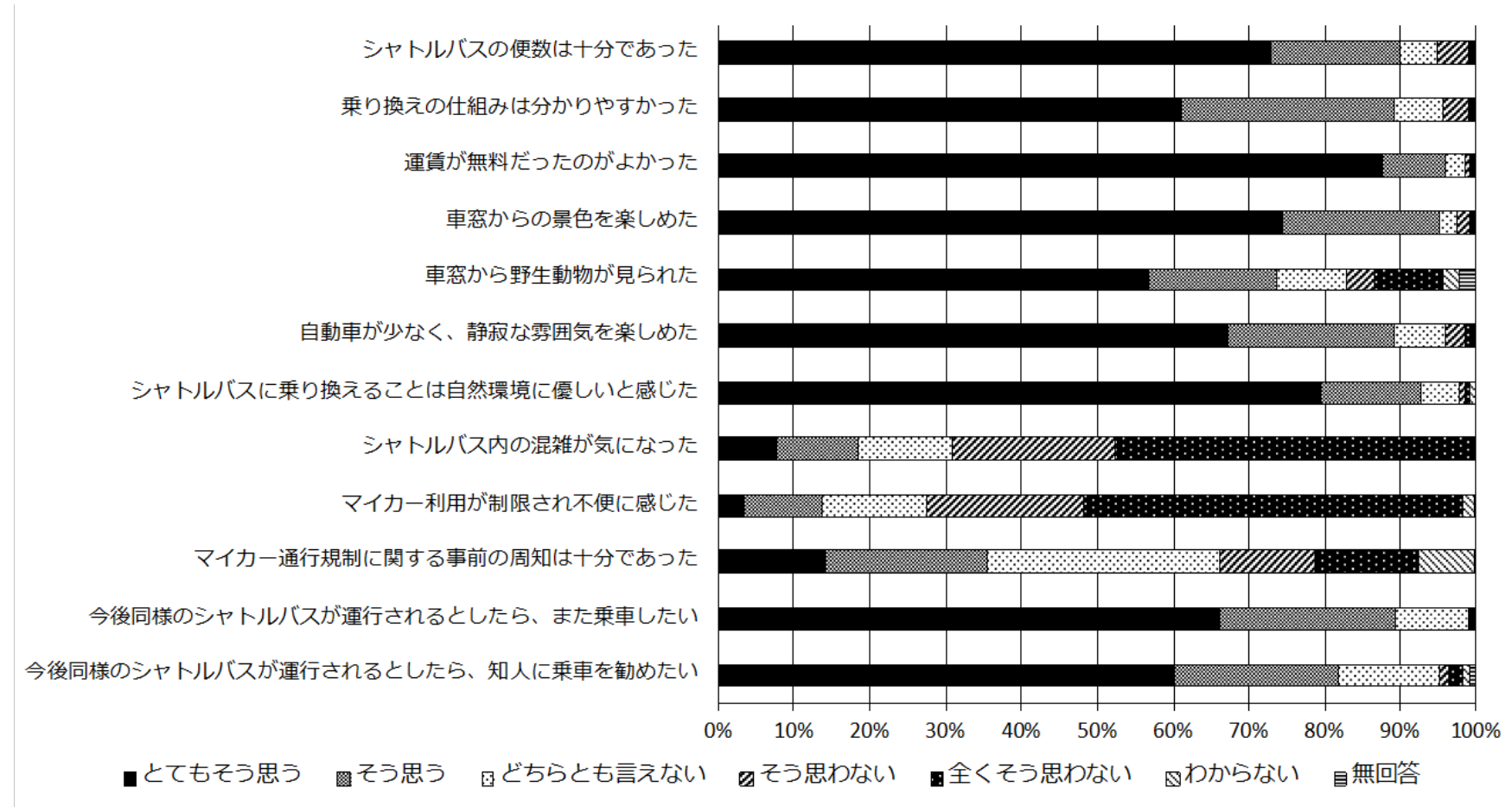
オータムバスデイズのシャトルバスに乗車しなかった理由 (複数選択)

n=64 (10月シャトルバス非利用者のみ)



オータムバスデイズのシャトルバスに乗車した感想

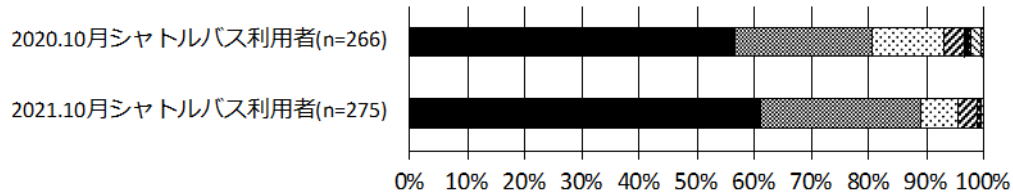
n=285 (10月シャトルバス利用者のみ)



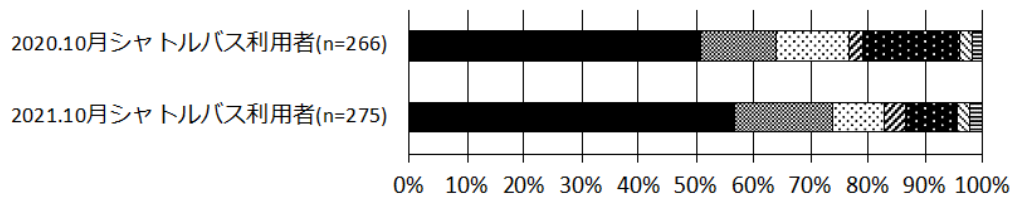
オータムバスデイズのシャトルバスに乗車した感想（経年比較）

➤ 昨年の調査と比較して変化が見られた4項目を示す。

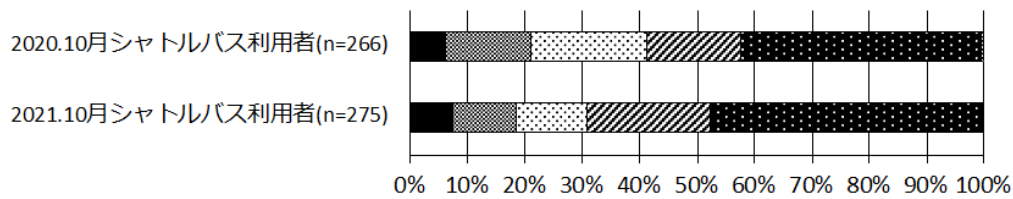
乗り換えの仕組みは分かりやすかった



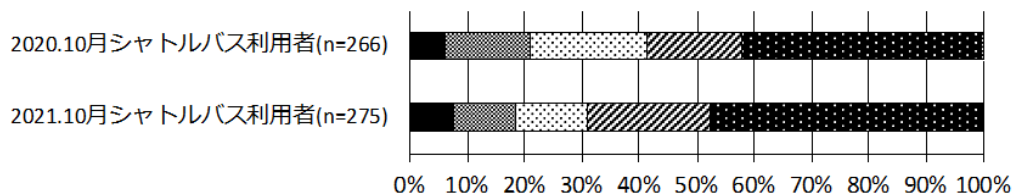
車窓から野生動物が見られた



シャトルバス内の混雑が気になった



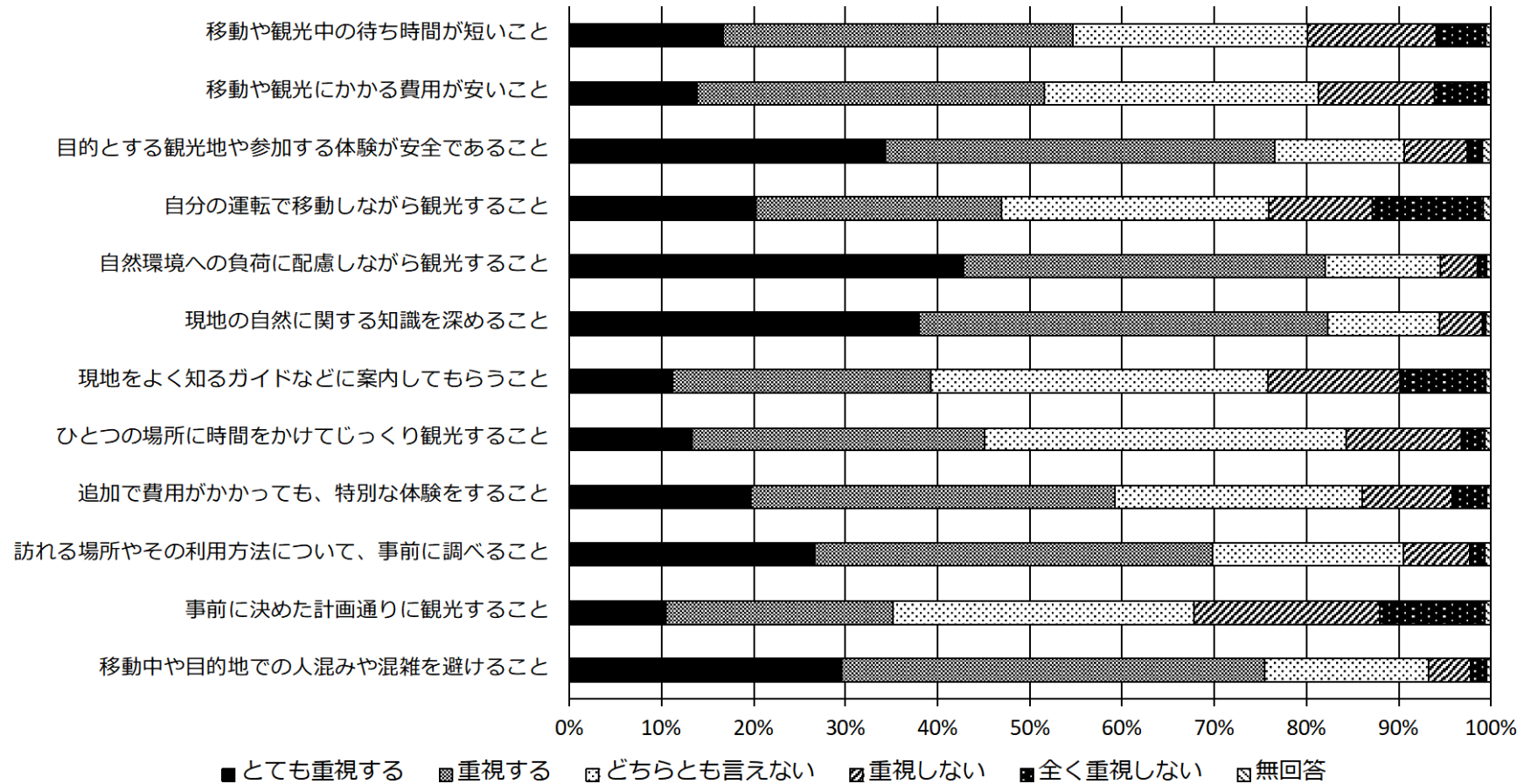
マイカー利用が制限され不便に感じた



- とてもそう思う ■ そう思う □ どちらとも言えない
- ▨ そう思わない ■ 全くそう思わない □ わからない
- 無回答

4. 自然観光地での観光の際に重視すること

n=711 (9月、10月全ての回答者を合計して集計)

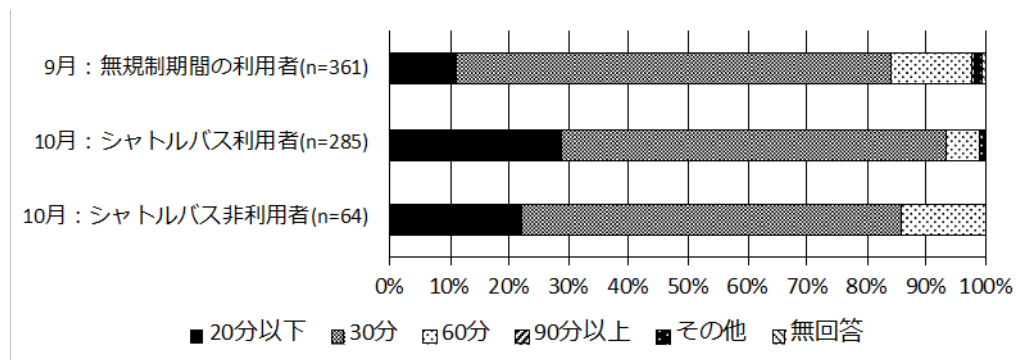


5. 知床の利用における待ち時間・料金・体験オプションに対する意識

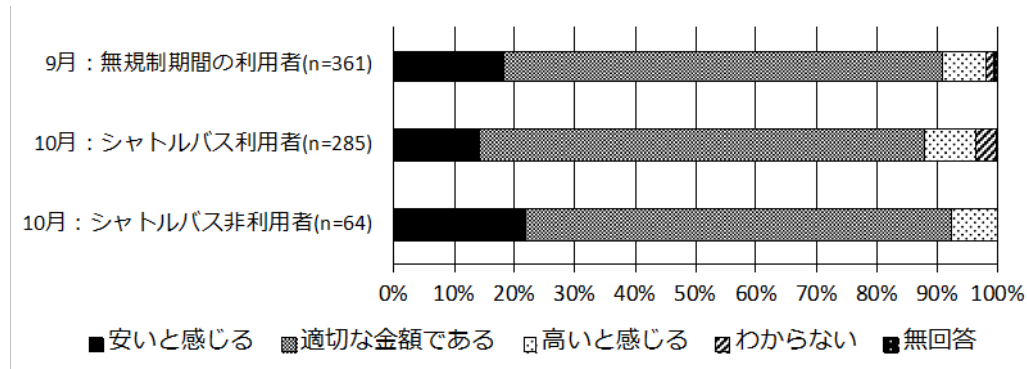
■ 要素間のトレードオフを考慮しない結果

※ 実際は待ち時間や料金にはトレードオフ関係があると考えられるが、以下はそれを考慮しない結果である。

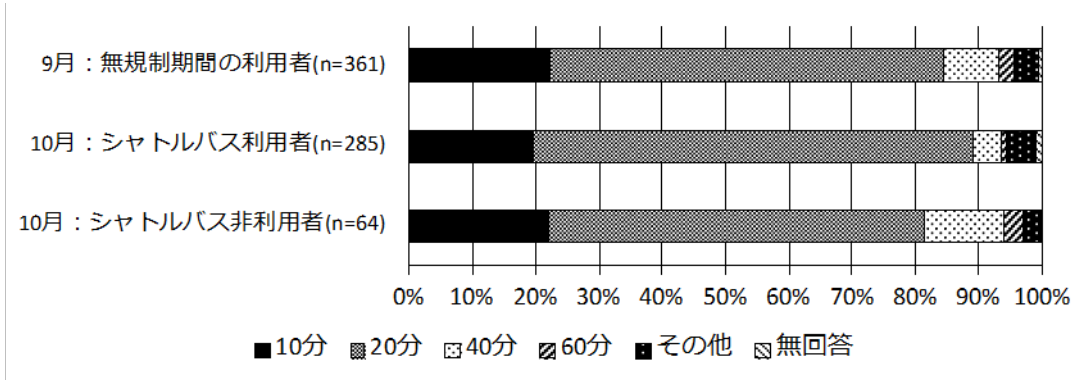
駐車場入場待ちとして許容できる時間



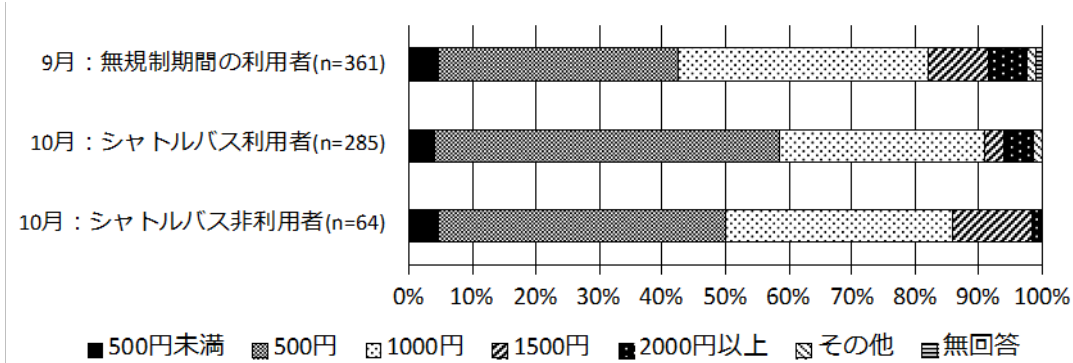
知床五湖の駐車料金（1台500円）について



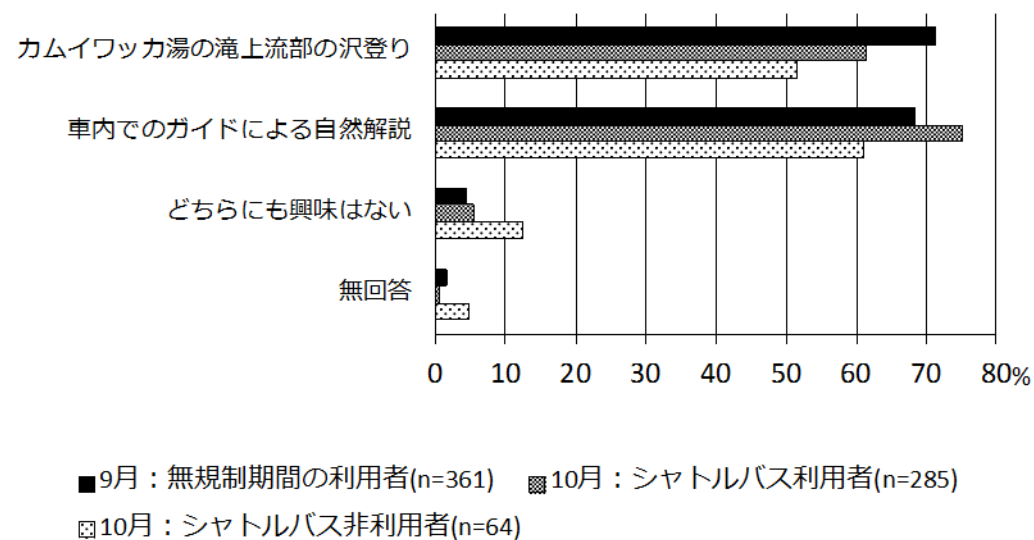
バス停での待ち時間として許容できる時間



シャトルバスの料金として望ましい金額（自然センター～カムイワッカ往復料金）



シャトルバス限定の体験として興味があるもの（複数選択）



■ 選択型実験を用いた結果

「待ち時間」、「料金」、「体験オプション」といった要素は、実際にはトレードオフの関係にあると考えられる。選択型実験は、複数の要素を持つ選択肢の組み合わせを繰り返し提示することで、それぞれの要素について利用者が考える重要性を、支払意志額（いくらまで支払ってよいか）という金銭価値で評価する手法である。

今回の調査では、回答者に対して、下記のような3つの選択肢を提示した。

表2 質問の例

	シャトルバス ①	シャトルバス ②	車で行く (シャトルバス運行なし)
待ち時間	20分(バス停で待つ)	60分(バス停で待つ)	60分(駐車場入場待ち)
料金	1500円(バスの料金)	1000円(バスの料金)	500円(駐車場料金)
シャトルバス限定の体験	車内でのガイド解説	カムイワッカ上流部沢登り	なし
	↓	↓	↓
最も利用したい番号に○▶	1	2	3

実際のアンケートでは、表2のような質問を1人の回答者に対して6回行った。この際の選択肢は、質問ごとに全て異なるものであり、待ち時間、料金、シャトルバス限定の体験（以下、体験オプションと呼称する）の3つの要素を、表3に示すように変化させながら組み合わせることで作成した。

表3 3つの要素について

要素	シャトルバス	車で行く
待ち時間	バス停での待ち時間 ・10分・20分・40分・60分	駐車場の入場待ち時間 ・30分・60分・90分
料金	カムイワッカまでの往復料金 ・500円・1000円・1500円・2000円	知床五湖の駐車料金 ・500円
シャトルバス限定の体験 (体験オプション)	・なし ・車内でのガイド解説 ・カムイワッカ上流部沢登り ・車内でのガイド解説 +カムイワッカ上流部沢登り	・なし

分析結果 (暫定)

シャトルバス非利用者 (9月:無規制期間の利用者、および10月:シャトルバス非利用者) とシャトルバス利用者 (10月:シャトルバス利用者) で分けて分析を行った。以下に示す支払意志額は、それぞれのグループの平均値である。

要素	支払意志額	
	シャトルバス 非利用者	シャトルバス 利用者
シャトルバスのバス停での待ち時間:1分減る	57円	45円
自家用車の駐車場入場待ち時間:1分減る	51円	39円
カムイワッカ上流部に行ける+車内でのガイド解説あり* ¹	1255円	470円
カムイワッカ上流部に行ける* ¹	529円	0円
車内でのガイド解説あり* ¹	0円	0円
車と比較した場合のシャトルバス* ²	0円	1596円

*¹ オプションなしの場合を0円としていくらまで支払ってよいかを示す。

*² 待ち時間や体験オプションが同じである場合、車と比較してシャトルバスに対して追加でいくらまで支払ってよいかを示す。

結果まとめ

- 待ち時間はどちらのグループにとっても重要である。10分減ることに対して約400円～600円まで支払ってよいと考えており、逆に増えれば支払ってよいと思う金額は同じだけ下がる。
- シャトルバス非利用者は、シャトルバス利用者と比べて体験オプションに対する支払意志額が高い。
- シャトルバス利用者は、待ち時間や体験オプションが同じである車と比較した場合、シャトルバスに対して追加で約1600円まで支払ってよいと考えている。